

大学名	鳥取大学
-----	------

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題	人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開
----	---------------------------------

特色ある取組

「地域に根ざし、国際的に飛躍する大学」をビジョンとして掲げる鳥取大学では、このビジョンを実現する戦略の一つとして、第3期中期目標期間(平成28年度～令和3年度)において「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」を実施した。この取り組みは、人口最少県であり、人口減少、少子・高齢化、産業空洞化などが全国に先駆けて進む課題先進地域である鳥取県を中心とした山陰地域において、多様なステークホルダーとの協働により実現した。地域の課題を抽出し、分析し、解決策を探る研究と教育を循環的に発展させ、その成果を地域に還元することを目的とし、第3期6年を通じて取り組む重点支援プロジェクト(28テーマ)と、一年毎に公募・採択



「未発掘地域資源であるローカル酵母の活用による地域産業創造・地域活性化プロジェクト」から生まれた地域の企業が開発したローカル酵母を用いたパン(左)、クラフトビールや日本酒(右)



コミュニティ・デザイン・ラボにおいて、自治体職員から地域の課題についてヒアリングを行う学生たち

される地域価値創造研究教育推進プログラム(令和3年度は42テーマ)からなる教育研究社会貢献プログラムである。本事業の一層の推進を図るため、平成29年には地域連携とプロジェクト支援を担う地域価値創造研究教育機構を立ち上げ、地域と大学の協働の場であるコミュニティ・デザイン・ラボを設置した。

第4期中期目標期間においては、これまでの取り組みを基盤として、SDGs、カーボンニュートラル、デジタル田園都市、関係人口創出などをキーワードに、地域と学生、教員がともに学び教え合いながら、地域の課題解決とイノベーション創出を推進する取り組みをさらに発展させることとしている。

参考URL

・鳥取大学地域価値創造研究教育機構HP
<https://www.core.tottori-u.ac.jp/>